令和８年（2026 年）11 月 16 日

保護者の皆様

札幌市立新陵中学校
校長　八木田　晃暢

令和８年度全国学力・学習状況調査結果について

向寒の候、保護者の皆様にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃から本校の教育活動に温かい御理解と御協力をいただき心から感謝申し上げます。

さて、本年４月 22 日（水）、23 日（木）並びに 30 日（木）に３学年を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」につきまして、文部科学省から学校にその結果が届き、保護者の皆様にも生徒を通じて個人票をお渡ししたところです。本校においては、今回の調査結果をもとに、生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるために分析を進めてまいりました。このほど、その結果がまとまりましたので、その概要について保護者の皆様にお知らせいたします。御家庭での指導等に御活用ください。

なお、調査結果の公表については、「序列化や過度な競争が生じないように配慮しつつ、各学校が自校の結果を±３ポイントの幅を基準とした５段階による言葉を用いたり、成果と課題を丁寧に捉え、具体的な改善策を示したりすることとする。」という札幌市の方針を受け、以下のように示しております。なお、英語につきましては、領域ごとの平均正答率が示されていないことから、本校が課題と捉える問題を抽出し、それに対する「改善の方向」を示しております。

［国語］、［数学］について、それぞれ領域ごとの本校の平均正答率と全国平均との差を用いて比較する。

＋３．１ポイント以上	⇒「上回っている」
＋３．０ポイントの範囲内で全国平均を上回る	⇒「ほぼ同程度であるが、やや上回る」
全国平均と同じ	⇒「ほぼ同程度」
－３．０ポイントの範囲内で全国平均を下回る	⇒「ほぼ同程度であるが、やや下回る」
－３．１ポイント以下	⇒「下回っている」

また、本調査により測定できるのは学力の一部分であり、学校における教育活動の一側面であることを御理解いただきますようお願いいたします。

この件に関するお問合わせは、学校（011-684-6333　担当：教頭、磯）まで御連絡ください。

令和８年度　全国学力・学習状況調査　新陵中学校の調査結果の概要について

中学校　国語

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【領域】		
□「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。	●言葉の規則性に関すること。	○口語における文法事項の定着を促す学習活動の充実。
□「情報の扱い方に関する事項」 ・全国平均を下回っている。	●資料から読み取れる情報を整理して、文章と関連付けて読むこと。	○ＩＣＴなどを積極的に活用し、情報の収集や読み取りの充実。
□「話すこと・聞くこと」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。	●文章や会話の意図を汲み取りながら、話し手や聞き手の意識をもつこと。	○相手の立場に身を置き、話し手や聞き手の意識をもつ学習活動の充実。
□「書くこと」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。	●読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えること。	○話し言葉と書き言葉の差異を認識できる指導を充実させ、伝えようとすることが伝わるかどうか、文字や表記が正しいか、推敲の充実。
□「読むこと」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。	●表現の効果について、根拠を明確にして考えること。	○表現の効果について、特徴的な文章を読み味わう機会を増やし、自分の考えを書いたり発表したりする活動の充実。

	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
中学校　数学	【領域】 □「数と式」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。 □「図形」 ・全国平均を下回っている。 □「関数」 ・全国平均を下回っている。 □「データの活用」 ・ほぼ同程度であるが、やや上回る。	●知識及び技能を統合的・発展的に考え、数学的な表現を用いて説明すること。 ●図形の中から辺や角が等しいことを根拠をもって説明すること。 ●それぞれの関数の特徴を理解すること。 ●表やグラフから、判断をする際に根拠をもって説明すること。	○具体的な事象の中の数量の関係を、文字を用いた式で表したり、式の意味を読み取ったりする活動の充実。 ○角度を求めるだけでなく、「なぜそうなったのか？」という根拠を大切にする活動の充実 ○さまざまな関数について、表、式、グラフを相互に関連付けながら、「変化の様子」を捉え、それぞれの特徴を理解する活動の充実 ○生徒自らが PPDAC サイクルに沿ったデータの分析など、数学的活動の充実。 PPDAC サイクル:problem 問題,plan 計画,data データ収集,analysis 分析,conclusion 結論の頭文字をつなげた課題解決のフレームワーク

	今回の調査における課題	改善の方向
中学校　英語	【領域】 □「聞くこと」 ・日常的な話題に関する内容を聞き、概要を捉えること。 □「読むこと」 ・日常的な話題に関する内容を読み、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ること。 ・日常的な話題に関する内容を読み、短い文章の概要を捉えること。 □「話すこと」[やりとり] ・言語の働きなどの知識を、話すことによる実際のコミュニケーションにおいて活用すること。 □「話すこと」[発表] ・社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すこと。 □「書くこと」 ・社会的な話題に関する内容を読み、要点を捉え、その考えとその理由を書くこと。	○学校生活に関連する日常的な話題について、全ての英文を一言一句理解しようとするのではなく、時間の経過や話の展開を示す語句に着目しながら、話全体の流れや概要を捉える学習活動の充実。 具体的には、音声を聞く際に、時間の経過を示す語句に着目してメモを取らせ、出来事の順序や話全体の概要を視覚的に整理させる等の指導を行う。 ○コミュニケーションを行う相手の置かれた状況や意図等を把握し、イラストや図を含む複数の情報の中から条件に合う必要な情報を判断して、正確に読み取る学習活動の充実。 具体的には、教科書を含むリーディング教材を活用し、チャットやメール文から相手の条件（日時・目的等）を把握したり、ウェブサイトやチラシ等から必要な情報を探し出したりする等の指導を行う。 ○日常的な場面や状況において、コミュニケーションの目的に応じ、既習の表現等を活用して、自分の思いや考えを即興的に口頭で伝え合う活動の充実。 具体的には、会話でよく用いられる表現について、多様なペアで即興的にやり取りする練習を、毎時間の帯活動等で繰り返し行う。 ○社会的な話題に関して理解した情報を基に、前もって準備した上で、自分の考えや立場を明確にし、その理由を添えて口頭で発表する学習活動の充実。 具体的には、生徒にとって身近な題材について概要を把握した上で、自分の立場（賛成・反対）と理由をキーワードや短文でまとめ、ペアやグループで口頭にて発表し合う等の指導を行う。 ○社会的な話題に関して理解した情報を基に、自分の考えや立場を明確にし、その理由を添えて書く学習活動の充実。 具体的には、書き手が伝えたい要点等を整理させた上で、自分の思いや考えを、接続詞等を用いて論理的に書く等の指導を行う。

【生活習慣や学習環境に関する質問紙調査結果の概要】

全国平均と比較して差異が見られた結果につきまして、特徴的なものをお知らせいたします。

（１）全国平均と比較して、肯定的な回答の割合が高いもの（抜粋）

・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか
・１、２年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用しましたか
（「ほぼ毎日」と回答した割合が全国平均を上回っている）
・あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思いますか
・１、２年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか
・国語の勉強は得意ですか
・国語の授業の内容はよく分かりますか
・１、２年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていましたか
・１、２年生のときに受けた授業では、キーボード（画面上に表示されるキーボードやフリック入力も含む）を使って英語を書く活動をどれくらい行いましたか
（「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答した割合が、全国平均を上回っている）

（２）全国平均と比較して、肯定的な回答の割合が低いもの（抜粋）

・学校の勉強のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか
（「ほぼ毎日」「週に１～２回」と回答した割合が全国平均を下回っている）
・学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）（「２時間以上」と回答した割合が全国平均を下回っている）
・授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか
・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか
・１、２年生のときに受けた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれましたか
・１、２年生のときに受けた授業では、数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていましたか

ここに挙げたものは、あくまでも生徒の一面にすぎませんが、学校では生徒の良さを更に伸ばし、課題の克服に向けて、教育課程の充実や「『学ぶ力』育成プログラム」等に生かしていきたいと思います。

なお、この調査結果は、本校ホームページにも掲載しておりますので御覧ください。